

教えてあげて信号のしくみ



交通安全教室をしていると、どの信号を見ていいのかわからないお子さんがとても多いです。信号の色の意味は分かっていても、どの信号を見ていいのかわからないため信号無視をしてしまう…そんなお子さんがいます！！



小さいうちから保護者の方が一緒に道路を歩いてしっかり教えてあげてください。まずは信号について話してみましょう。

家庭での交通安全教育が大切です

SAFETY MAP みんなでつくる安全マップ

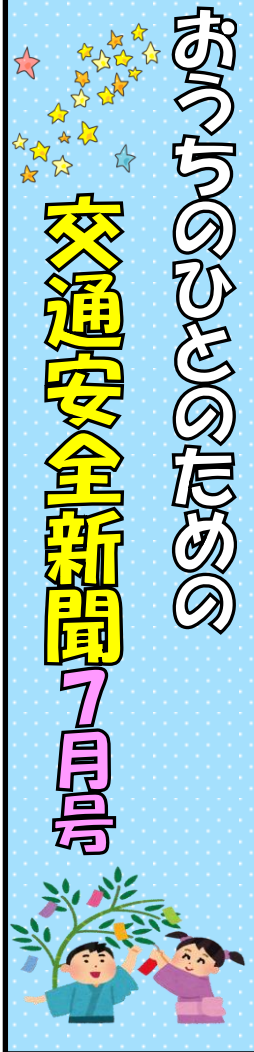


SAFETY MAPって知っていますか？ Hondaのカーナビゲーションシステムであるインターナビの走行情報から収集した「急ブレーキ多発地点」や「事故の多いエリア」「みんなが追加した地点」などを確認することができる地図サービスです。あらかじめ危険な場所を知ることによって歩行者もドライバーもより安心して生活できる世の中にしていきたくと願って始まったプロジェクトです。

街の交通安全をみんなで守ろう！

ポイント

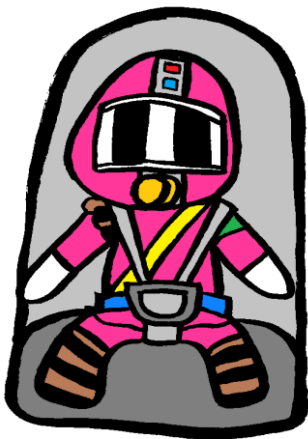
- ① 全国の危険がひそんでいる地点が見える
- ② 通勤・通学や外出時の安全を事前に確認できる
- ③ みんなの投稿で地域の安全が作られる



チャイルドシートを使っていますか？

子供（12歳以下）の交通死亡事故死傷者数のうち2人に1人は自動車同乗中の事故で死傷しています。

**お子さんの命を守れるのはあなただけです
子どもの笑顔と命を守りましょう**



「しっかり抱っこしていれば大丈夫」と思っていますか。事故の衝撃は凄まじいものです。急ブレーキをかけると時速30kmの場合でさえ、赤ちゃんは腕の中から投げ出されてしまい、致命傷を負う危険性があります。

いいことかダメなことかクイズ

交通安全教室では下の絵を子どもたちに見せて、いいことかダメなことかを聞いています。保護者の方としっかり手をつなぐことを教えています。

正解：○いいこと



親も子も慣れた場所だと、つい油断しがちになりますが、交通事故は普段の何気ない生活のなかで突然起きています。

お子さんがヨチヨチ歩き頃から手をつないで歩く習慣をつけておくと、イヤイヤの時期でもちゃんと手をつないで歩けるようになり安心です。親子で命を守る習慣を始めましょう。

